



## 第53回

# 東京大学医学教育セミナー

## 「“カフェ型”ヘルスコミュニケーションにおける 学びとは？ ～越境・対話・変容～」

昨今「○○カフェ」という対話活動を様々な形で聞くようになった。こうした“カフェ”活動は、90年代にフランスやイギリスではじまった「哲学カフェ」や「サイエンスカフェ」を源流としている。演者は2010年より、サードプレイスにおいて市民・患者と医療多職種が参加し健康や医療をめぐるテーマで対話を行う「みんくるカフェ」というヘルスコミュニケーション活動を始めた。

ここでは、単に専門家が非専門家へ教育するのではなく、ヘルスプロモーション・終末期ケア・介護など一義的解のないテーマについて、参加者が様々な視点を持ち寄り対話を行うことで、多義的な学びが起こっていると考えられる。こうした活動は、地域基盤型活動として行うことにより、単なる学びの場としてのみならず、地域の健康問題を解決する新しい手法としての可能性も有している。今回、この“カフェ型”ヘルスコミュニケーションの特徴を「越境」、「変容」といったキーワードで分析しつつ、この手法による新しい市民教育や医療者教育としての可能性も探してみたい。



## 孫 大輔

東京大学大学院医学系研究科  
医学教育国際研究センター 講師

### 2013年4月26日(金) 18:00～19:30

### 東京大学医学部図書館3階 333会議室

#### 問い合わせ先

東京大学大学院医学系研究科 医学教育国際研究センター

担当：大西・三浦

TEL: 03-5841-3583 / E-mail: ircme-lec@m.u-tokyo.ac.jp

URL: www.ircme.u-tokyo.ac.jp

※配布資料準備の都合上、出席をご希望の方はご所属先とお名前をご連絡ください。ただし、当日受付も歓迎いたします。

